2026年10月21日
資源循環技術・システム表彰 表彰式・講演会
機械振興会館地下２階ホール

1Caseプロジェクト

伊藤恵利

Menicon

Menicon

企業スローガン
より良い視力の提供を通じて広く社会に貢献する





代表執行役社長
川浦康嗣

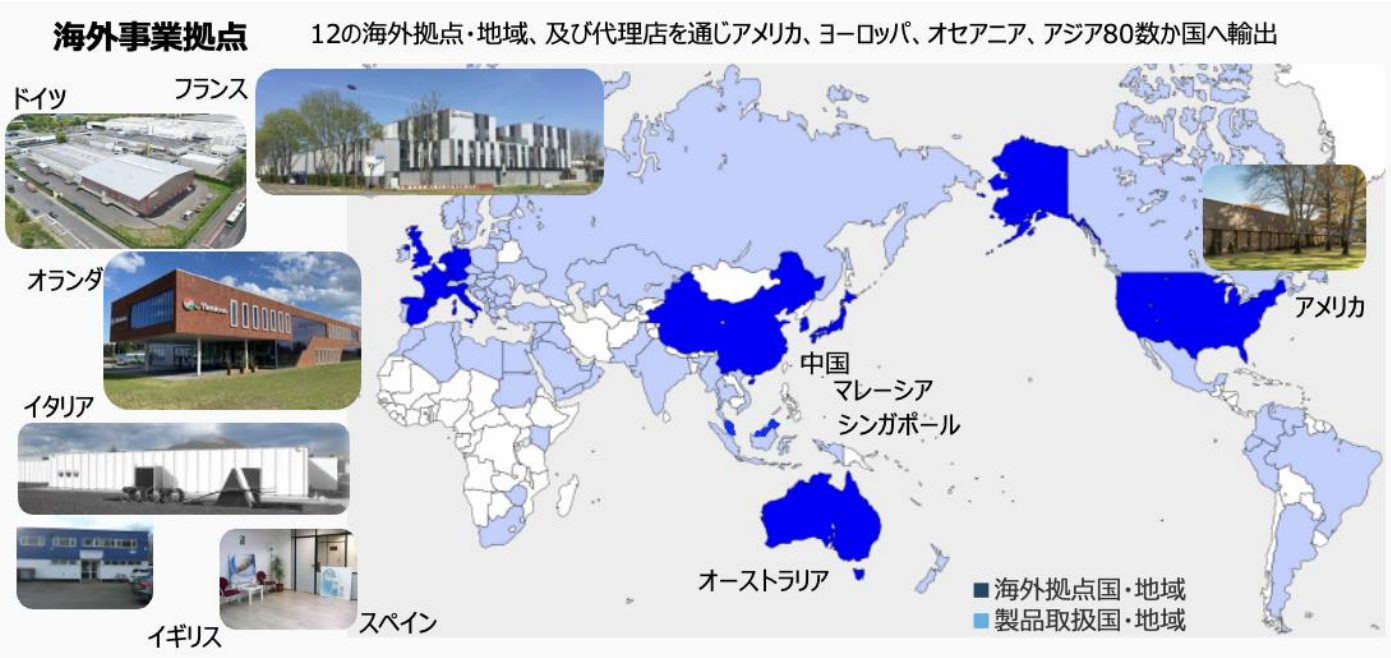
会社概要

会社名	株式会社メニコン
本社	愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号
創業	1951年2月
設立	1957年7月
資本金	55億2,147万円
従業員数	1,728名
事業内容	コンタクトレンズ・ケア用品事業 他

MELS PLAN
2001年誕生
定額制コンタクトレンズ使用サービス
（サブスクリプション型サービス）



海外事業拠点　12の海外拠点・地域、及び代理店を通じアメリカ、ヨーロッパ、オセアニア、アジア80数か国へ輸出



ESG的観点に立ったメニコンのサステナビリティ方針

環境・社会
（自然・社会関係資本）

- 地球環境の負荷低減
- 笑顔あふれる社会への貢献



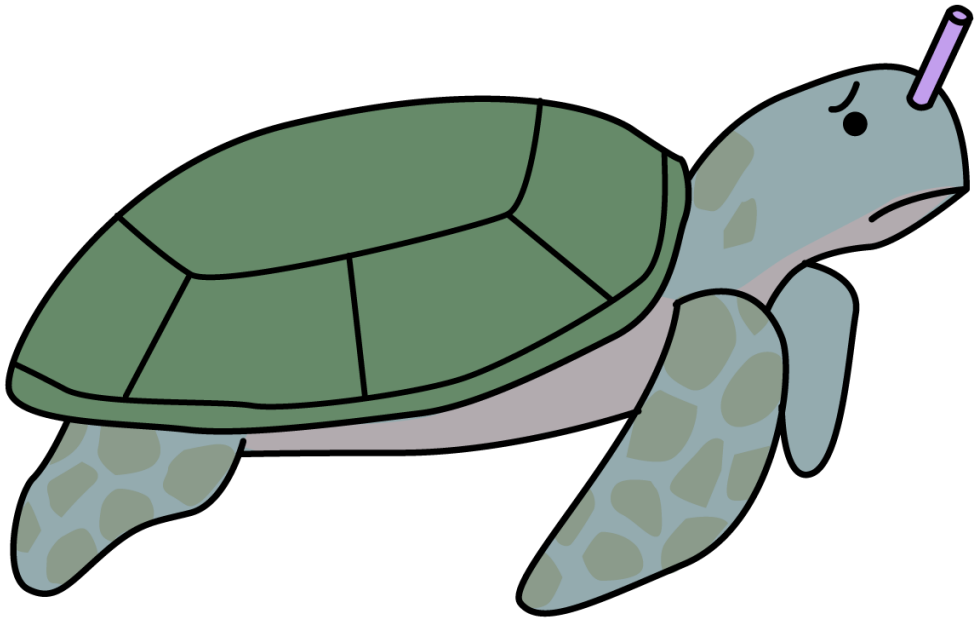
経営基盤
（人的・知的・社会関係資本）

- 100年続く企業基盤づくり

事業
（財務・製造資本）

- 五感を刺激する生活の提供

高分子界への衝撃　そこから始まった環境への思い



2015年　南米コスタリカ

生態系への影響

マイクロプラスチック問題

ゴミを廃棄するユーザーの問題

地球温暖化

化石燃料の枯渇

高分子製品の根源的な課題

コンタクトレンズを取り巻く廃棄物問題



2018年



レンズは水に溶けない

↓

排水口にたまる

↓

長い時間をかけてマイクロプラスチックに

ゴミは正しく捨てましょう

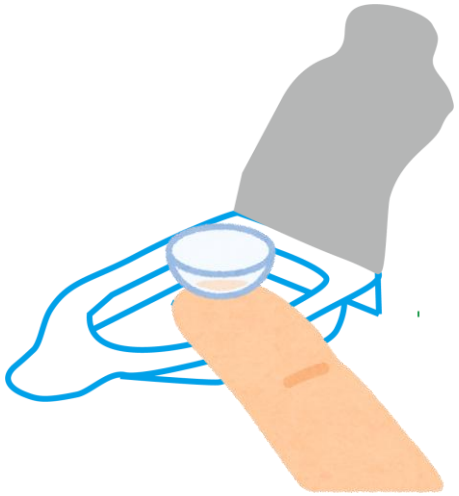
コンタクトレンズは可燃物、コンタクトレンズケースはプラスチック資源へ

（自治体の分別様式にしたがって下さい。）





1日使い捨てレンズは、何故生まれたのか？





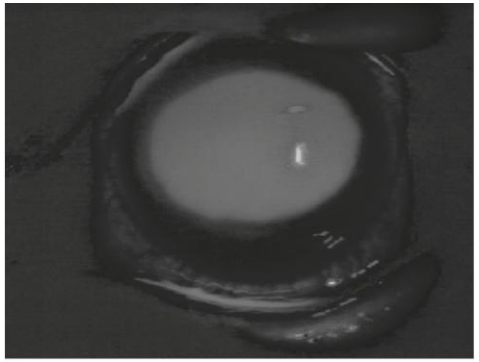
菌やウイルスによる感染リスクを減らしたい。

清潔・便利

国内発売から75年
使用者の継続的増加

角膜上皮剥離

糸井素純：コンタクトレンズと酸素不足．日コレ誌 2008,50:39-45

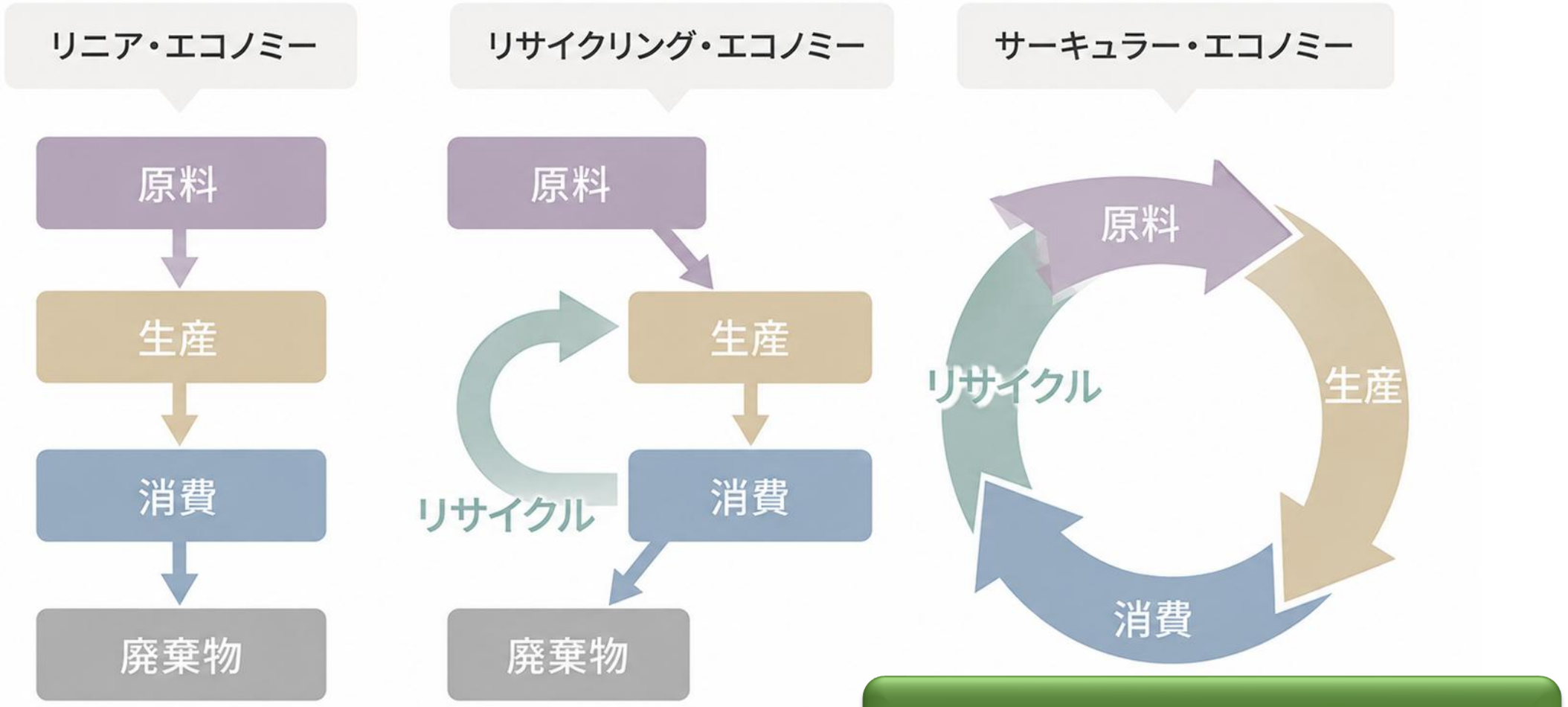


誤った使用は
菌やウイルスの感染原因に



レンズケースも毎日使い捨て

リサイクル　ー有限な資源を活用するために



資源循環社会の構築

ナショナルプロジェクトへの参画



東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO

PD　伊藤耕三特別教授

SiP 戦略的イノベーション創造プログラム

BRIDGE 研究開発とSociety 5.0との橋渡しプログラム
programs for Bridging the gap between R&d and the IDeal society (society 5.0) and Generating Economic and social value

サーキュラーエコノミーシステムの構築

廃プラの資源化方式の構築　　日本方式輸出による経済圏の構築

2023年　ピアレビュー委員就任　　2023年　プロジェクト参画

2024年　サブ課題C　分担代表　　2024年　SIPへの吸収合併



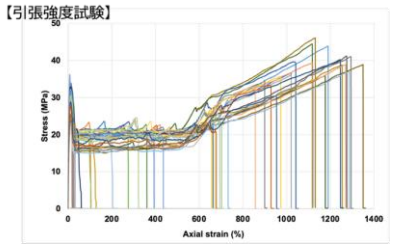
メニコン　伊藤


メニコン
1Case
プロジェクト

1Caseプロジェクト

75th Anniversary 1951-2026

コンタクトレンズにおけるサーキュラーエコノミーシステム構築への挑戦



SiP 戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

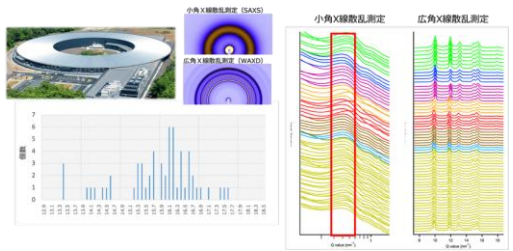
1Caseプロジェクト

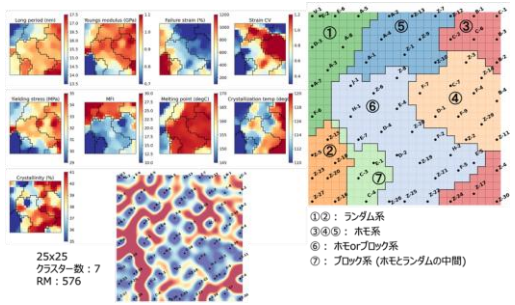


科学的研究

再資源化技術構築

再生材活用

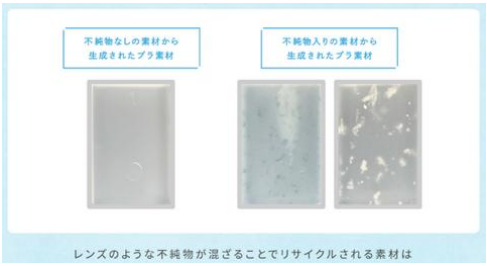


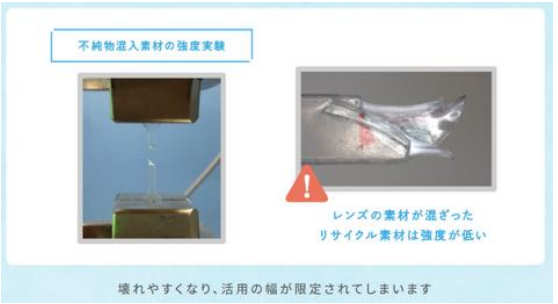


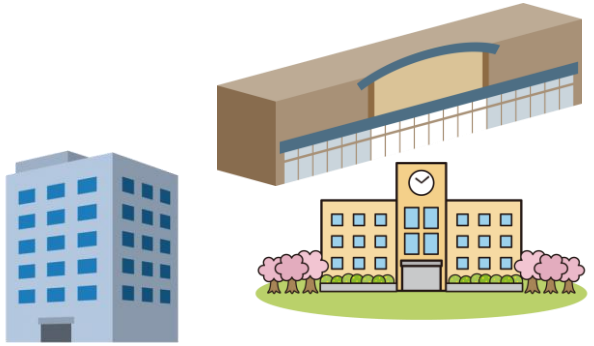
社会的研究

資源循環活動、浸透

グリーンサプライチェーン構築













1Caseプロジェクト

Joint Research
SiP Green X-Tech Menicon

日本の研究・技術力で

Contact to Car

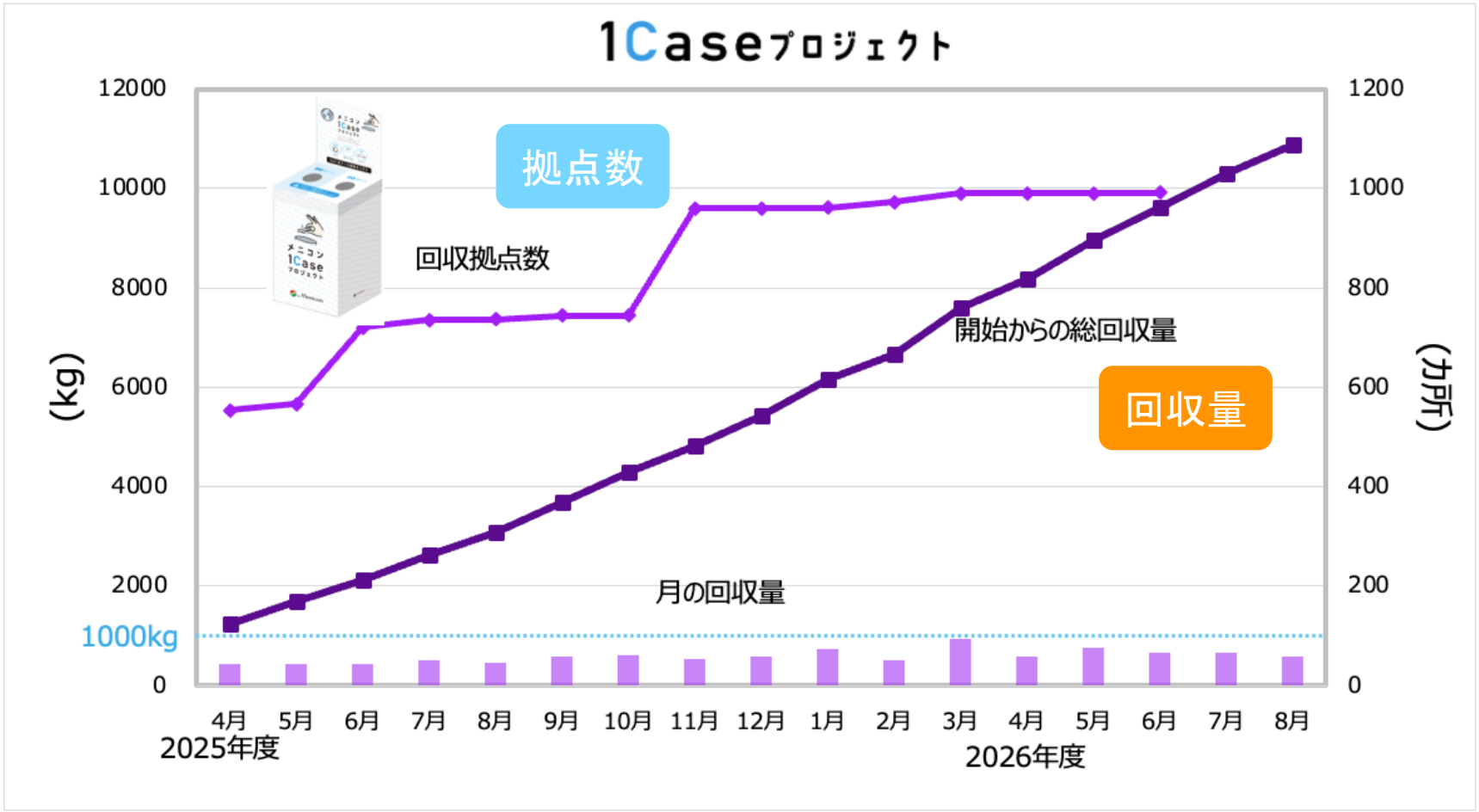
素材を必要とするところへ

Circular Economy

コンタクトレンズまわりの使用済みプラを

サーキュラーさせましょう！

1Caseプロジェクト の拡がり





2024年10月より開始　1年で回収実験の回収量は200倍に



1Caseプロジェクト 資源化における課題と推進事項

メーカー・ブランドが多い

↓

ケース材料もバラバラ

科学的研究

再資源化技術構築

↓

再生材活用

資源への意識のばらつき

↓

ゴミの混入

社会的研究

資源循環活動、浸透

↓

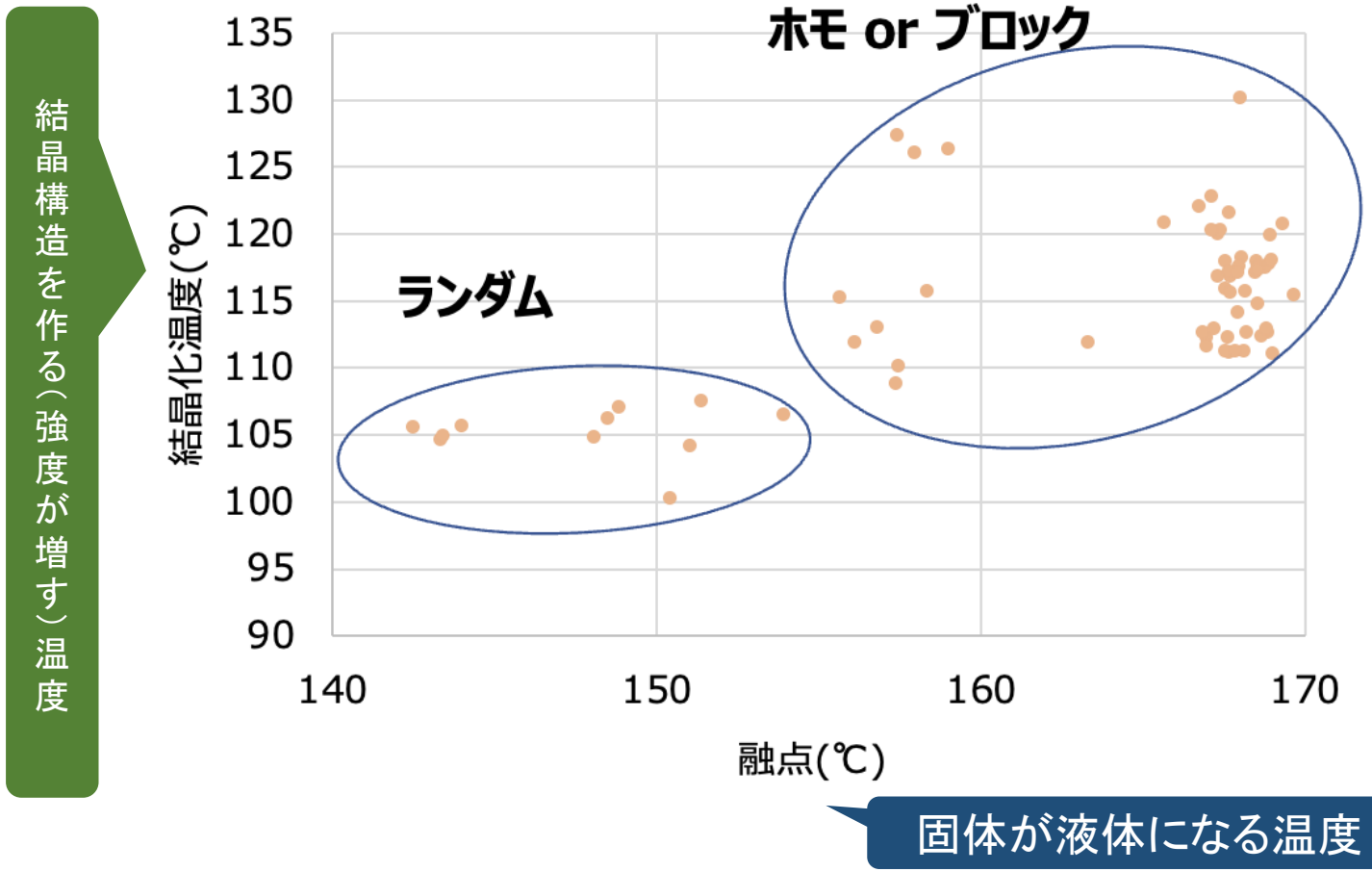
グリーンサプライチェーン構築

PCR(レンズケース)を再び使う　課題1　素材がばらばら



レンズケースのばらつきを理解する

【熱特性】

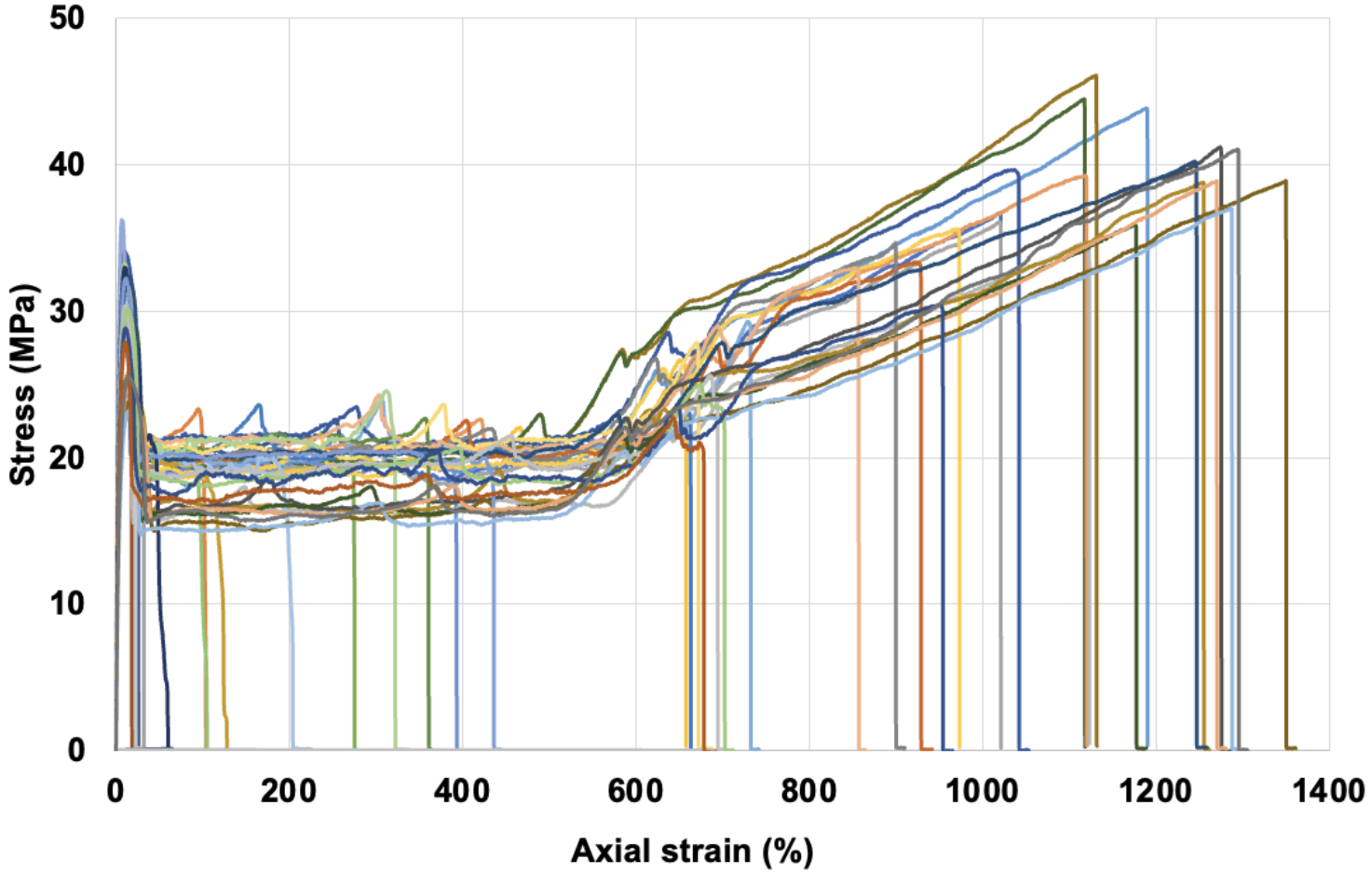


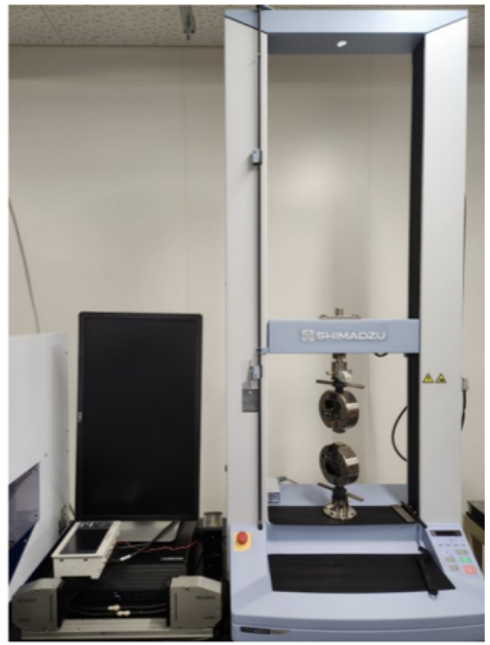


	開始温度 (℃)	速度 (℃/min)	目標温度 (℃)	保持時間 (min)
1st heating	20	10	200	5
1st cooling	200	10	20	0

ばらつきによる機能（はたらき）の差を理解する

【引張強度試験】





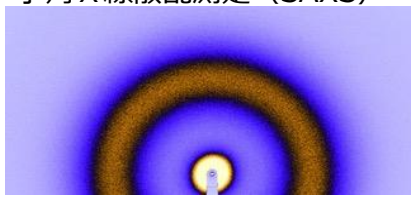
(株)島津製作所
- AGS-X
・ロードセル：10kN
・引張速度：50mm/min
各試料5箇所測定

違いが発生する理由（かたち・構造）を理解する

NanoTerasu

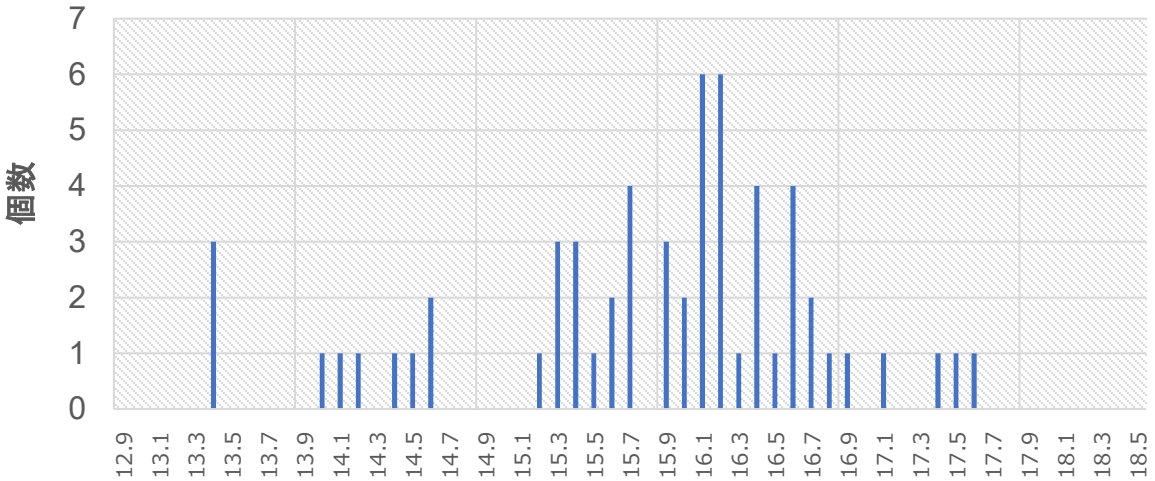


小角X線散乱測定（SAXS）



広角X線散乱測定（WAXD）

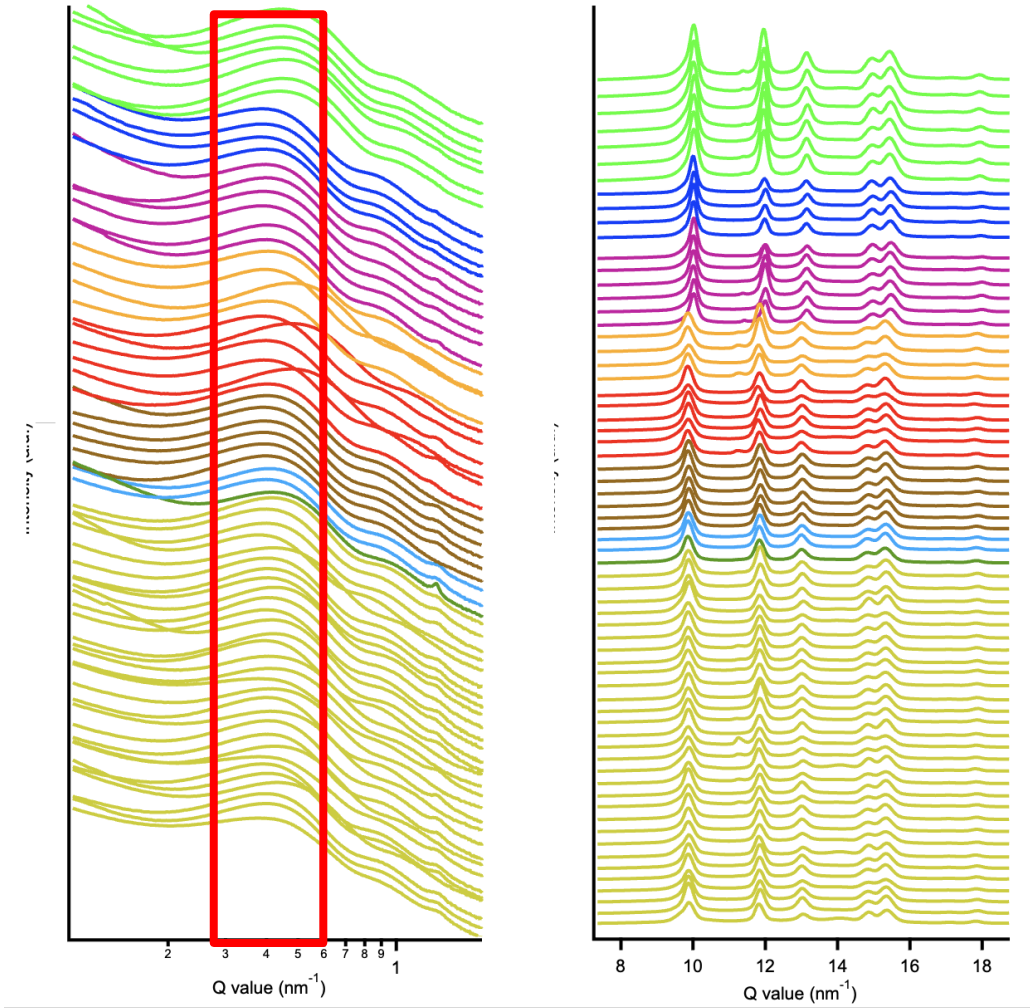




散乱における最もピーク差の顕著なq=0.3-0.6nm^{-1}の比較

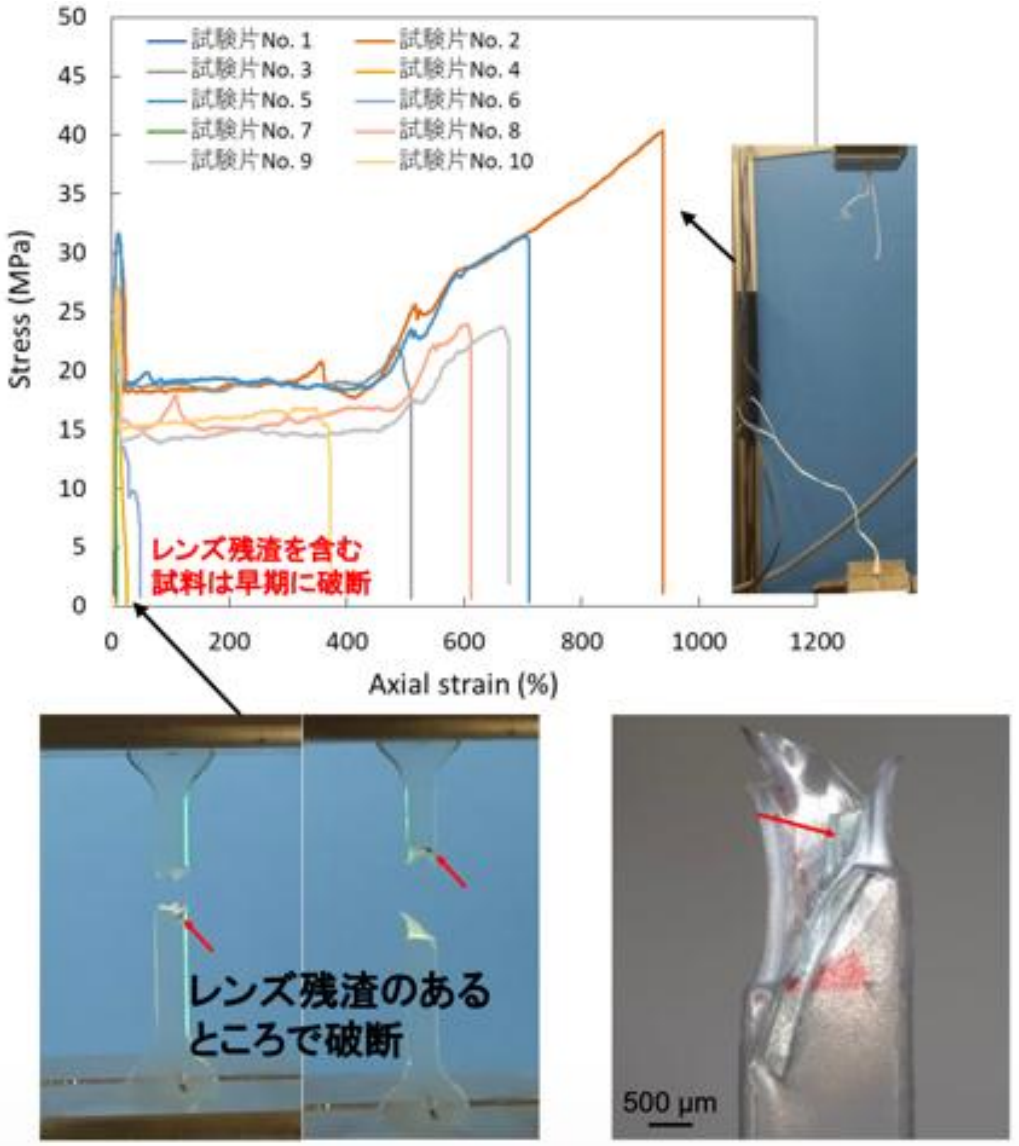
小角X線散乱測定

広角X線散乱測定



PCR(レンズケース)を再び使う　課題2　ゴミが混ざる





「使う」ためには、質が大事　社会の理解が大切





訴求動画の製作



Miru

集めるケースの品質が大事な理由を伝え

集まるレンズケースの品質を観察しています

Menicon

SiP 戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program



1Caseプロジェクト

メニコンは、内閣府が主導する戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）に参画し、
コンタクトレンズの製造・流通に使用するプラスチックの資源循環研究に取り組んでいます



SIP活動において、当社の使用済みプラスチックを含んで成形された自動車部品

1Caseプロジェクト　三大ルール

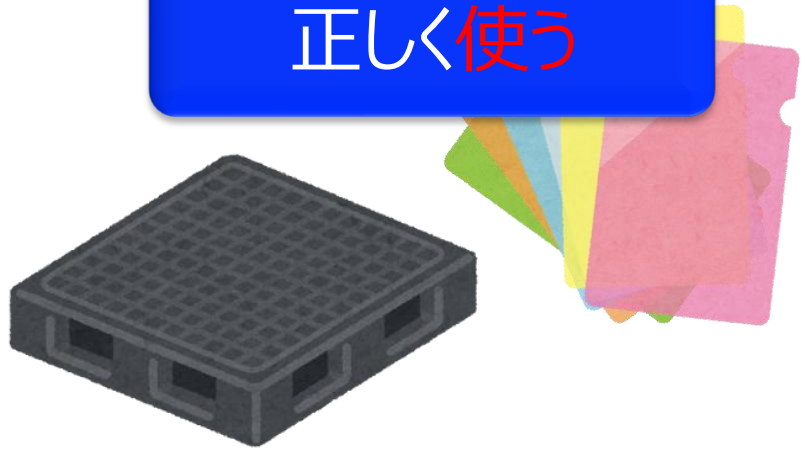
たくさん集める



きれいに集める



正しく使う



1Caseプロジェクトを通じたメニコンサステナビリティ方針の実現

➢ 有限資源の保護・活用



➢ 社会への新しい価値の提供

➢ メニコンの目指す価値の提供


75th
Anniversary
1951-2026